

第8回大牟田市まちづくり基本条例 市民検討会摘録

開催日時：平成26年8月28日（木）午後6時30分から午後9時

開催場所：市役所北別館第1会議室

出席状況：市民検討会委員11人、職員10人、ファシリテーター2名、事務局4人

傍聴者：1名

1 開会

2 前回市民検討会の振り返り等

(1) 市民参加について

条例に盛り込む内容案（事務局作成）について前回の市民検討会で出された意見を紹介し、検討会で出された意見を反映させて、条例原案から条例素案へと整理して行くことについて説明。

(2) 前文について

前文に盛り込む内容について各班でイメージすることばを抽出し、検討を行なったことについて説明。

3 班分け ワークショップを行うため4班に班分け

4 市民参加に関する条例に盛り込む内容の確認

市民検討会の意見を踏まえ整理した市民参加の対象、並びに市民参加の手法の内容などについて確認を行なった。

5 前文の確認

前文について事務局案を示し、各班で意見交換し意見集約を行った。

(1) 風土・歴史について

○衰退してきた歴史についても記述したほうが良い

(2) 協働の必要性・課題

○「それぞれの役割」は「それぞれ」を（行政と市民という風に）明確に定義したほうが良い

○「責任」は表現が重いので削除したほうが良い

○（役割と責任を削って）「自らの意志に基づき主体的に行動できる市民」といった表現にする

○少子高齢化などの課題に対する将来像が示されていない（子育て世代が住みやすい、地域コミュニティの強化（創造）、女性の視点で暮らしやすいまちづくりなどの課題に対応する表現を将来像の部分に補強する）

○価値観の多様化は課題ではないので削る

○コミュニティの「希薄化」⇒「衰退」に変更したほうが良い

(3) 将来像について

- 「住民」は「市民」に変えたほうが良い
- 「住みやすいまち」は「住み良いまち」に変えるかイメージ出来る具体的な（挨拶が飛び交う、きれいなまち）表現に変えたほうが良い
- 人づくりはまちづくりの表現を加える（希望と愛着を持てるような人づくりをし・・・）
- 「活力と活気に満ちた」はイメージしにくい

(4) 決意について

- 「持続的なまちづくり」はイメージしにくいので、挑戦的、チャレンジ精神にあふれるなどまちづくりに対する意気込みの表現を加える
- 「地域力の向上」は地域コミュニティの衰退に対比する表現（地域コミュニティの創造）に変えたほうが良い

(5) その他

- 文章が長い
- まちづくりの基本理念の定義が不明確
- 類似したことばが多用されている
- 全体的に表現がきれい過ぎる（泥臭い表現に変えたほうが良い）
- 風土・歴史と経過では「発展」（ハード面、ソフト面といった）のことばの意味に違いがあるのではないか

6 総則の確認

総則（目的、原則、定義）について事務局案の確認を行なった。

7 伊佐会長総括

まちの特色と経緯に使われている「発展」は意味合いが違うといったこと、課題に対応した解決の方向を将来像で示すといったこと、人づくりが大事といったことなど良い意見が多数出された。皆さんの意見を反映させられれば良い前文を作ることができるのではないかと思う。

また、まちづくりの経過の表現にある、「未来にはばたく・・・」、「わがまちの潜在能力・・・」を市民の決意に活用しても良いのではないかと思う。

8 事務局連絡

・次回市民検討会について

開催日時：平成26年9月25日（木）18時30分から

開催場所：市役所北別館第1会議室